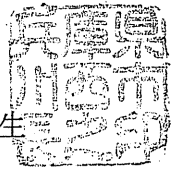


平成 19 年 7 月 23 日

川西市行財政改革審議会

会長 新 川 達 郎 様

川西市長 大塩 民生



諮 問 書

川西市行財政改革のあり方について、貴審議会の意見を求めます。

【諮問趣旨】

本市の行財政改革については従前から行ってきており、目標以上の効果を挙げつつも歳入と歳出の均衡までには至っておりません。平成 19 年度予算においても 9 億 9 千万円の基金を取り崩している状態にあります。

一方、国の景気判断は、回復基調で先行きも景気回復が続くと見込んではおりますが、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来などの状況を考えると、右肩上がりの経済情勢への回帰は期待できず、一層財政状況は厳しくなると推測されます。

このような認識の下、新しい社会情勢に対応した簡素で効率的な市政を実現するため、平成 24 年度までの中期的な展望に立った本市の行財政改革のあり方について、その基本的な方向性を求めるものです。